

ボランチ Volunch

2019年度 活動報告誌

横浜市立大学

ボランティア支援室

学生スタッフ

2020年3月発行

2019年度の活動



ボラツアー

Volunchのスタッフが選んだボランティアに、Volunchのスタッフと一緒に参加してもらうことで、ボランティアに対する不安を解消していき、事前・事後交流会を開催して、内容確認や振り返りの他、参加者の交流を深めてもらいました。

オリパラ

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、ボランティアとしてどのように関わっていくのか、盛り上げていくのかについて、様々な活動を通して考えていきました。

もっとボランティア

ボラツアー、オリパラの活動の他にも、多様な活動を通して、ボランティアと市大生を繋ぐサポートをしました。

Volunchの目標

- ①ボランティアの楽しさを発信し、地域と市大生をつなげる
- ②ボランティアに参加することで自分の経験値をあげる

私たちVolunchは、上記の目標のもと、ボランティア支援室職員の方々のサポートをいただき活動しています。内容としては、ボラツアー、オリパラなどの企画のほかに、月2回の昼休みミーティングを行い、現在の団体としての活動進捗の確認やメンバー個人の活動の共有を行ったり、空きコマにVolounge(ボラウンジ)に集まって、ボランティアに関する悩みを持つ学生のサポートを行っています。

また、上記のこと以外でも個人としてVoloungeを使用するメンバーもあり、一緒にお昼ご飯を食べたり、テスト勉強をしたりなど、親睦を深める機会が多いです。先輩後輩の関係も非常に良好で、みんなで協力しながら、日々の活動に取り組んでいます。



ボラツアー

よこすかカレーフェスティバル

お祭りを支える一員として

5月のカレーフェスティバルは2日間開催され、ボランティアの仕事はそれぞれブース内の綿あめ、水風船、ポップコーンの販売と着ぐるみ数体を使った会場内の巡回でした。今回のボランティアに際して、私は着ぐるみを着て会場内を巡回する役割と、アテンドと呼ばれる着ぐるみに入っている人の補佐をする役割を担当しました。着ぐるみの中は暑く、視界も狭くて慣れるまで大変でしたが、小さい子どもたちと関わる機会が多く、自分が担当したキャラクターの名前を大声で呼んでくれる子どもたちにはとても癒されました。 (Volunch 1年 中田瑠宙)



ホタル観賞会

ボランティアから学ぶ自然の大切さ

6月のボラツアーは、現地のスタッフの方と協力しながら紙芝居を通して地域の方たちにホタルの生態と自然の大切さを伝え、ホタル観察を楽しんでもらうボランティアでした。森でホタルをたくさん見られたのはとても貴重な体験でしたが、それと共に外来種の放置など、人間による自然破壊の問題も身近に感じました。そしてボランティアはただ人助けをするものではなく、自らもそこからたくさんの学びを得ることができるということを、改めて実感できた機会となったと思います。

(Volunch 1年 菅野杏美)



第45回金沢まつり花火大会

夏の感動をつないでいくために

8月のボラツアーの活動内容は、来年の花火大会に向けた募金を来場者に呼びかけるというものでした。私たちの呼びかけに対し、多くの来場者の方々が快く応じてくださり、「ご苦労様です」と声をかけてくださったことが印象に残りました。そして、金沢まつり花火大会は地域のボランティアの方々と、老若男女問わず様々な来場者の方々の善意で成り立っているものであるということを実感できました。また、そのような素晴らしい場で、自分自身も微力ながら募金活動に貢献できたということをととても誇りに思いました。

(Volunch 2年 横見歩海) 3



YOKOHAMA Bay Dream

電動車椅子サッカー練習サポートボランティア

障害のあることを感じさせない迫力満点の電動車椅子サッカー



10月は電動車椅子サッカーチーム「YOKOHAMA Bay Dream」さんに協力していただき、練習や試合のボランティアをさせていただきました。選手用の車椅子に試しに乘坐してもらくと、操作がとても難しいのが分かりました。しかし、試合中の選手の動きは力強く俊敏で、とてもカッコよかったです。初めての事ばかりで不安もありましたが、新しい刺激や新しい人との出会い、保護者の方のサポートのお陰で、ボランティア後はとても温かい気持ちになりました。（Volunch 2年 桑野渚）

横浜リレーマラソンin赤レンガ

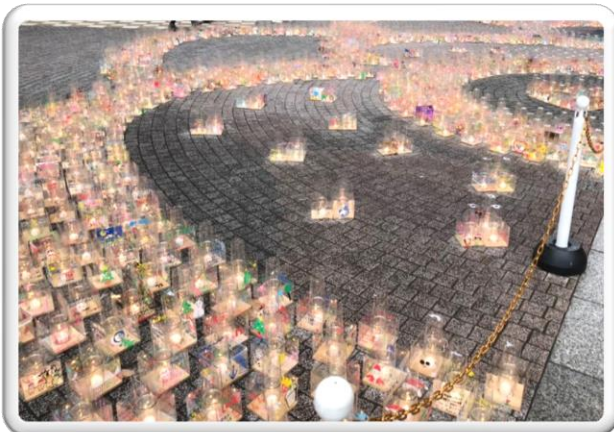
初開催のイベントの運営で重要な事

11月のボラツアーは、ランニングとウォーキングで心身の健康増進を目的とする、横浜リレーマラソンでした。当日は会場やコースの設営、案内、記録管理等を行いました。ボランティア参加者同士で楽しみながら設営をしたり、イベント中にランナーを応援したりと、笑顔の絶えないイベントになりました。また、今回はリニューアル後初めての開催という事もあり、イベントの理解が難しかったのですが、主催者の方との密なコミュニケーションによって内容の理解が深まり、当日もスムーズにイベントを運営することができました。主催者とのコミュニケーションの重要性も学べたと思います。（Volunch 2年 マクガバン晏岳）



横濱キャンドルカフェ

クリスマスに灯る光と繋がる人々と



横濱キャンドルカフェは2006年から毎年クリスマスの時期に開催される、横浜市最大級のイベントです。そのイベントで灯されるキャンドルの一つひとつを、横浜市内の子どもたちや参加した人々が書いたカードで囲って並べました。事前準備の日もイベント当日も、他のボランティアの方々や主催者の方と協力して楽しんで作業することができ、キャンドル全体が点灯された時にはとても達成感がありました。

（Volunch 1年 揚妻幸歩）



YDCxVolunch 「スポーツボランティア講習会」

5月6日に八景キャンパスで開催しました。横浜市立大学医学部学生団体“YDC”と協力し、オリンピック・パラリンピックをはじめとするスポーツ大会等において起こりうる医療に関する対策講義と、実際に考えられるリスクを想定したケーススタディを行いました。

プログラムを通して、集団感染の危険性について改めて知ることができ、ケーススタディにおいては、感染を防ぐために、身近な道具やAEDを使って、どう対処するのが最善なのかを参加者の方々に考えてもらいました。2020オリンピック・パラリンピックに向けて、参加者の方々にとっても、Volunchにとっても、今後の活動に活かすことのできる機会となりました。

(Volunch 2年 野間駿佑)



5人制サッカー講演会&体験会



12月15日に、5人制サッカー（ブラインドサッカー）チームのbuen cambio yokohamaに協力していただき、講演会と体験会を行いました。“パラスポーツだけど健常者と障害者が協力することで成立する”この考え方が特に印象に残り、パラリンピックは障がい者だけのスポーツではないと改めて実感することができました。

実践の様子から、やはり“仲間との絆”の大切さを実感しました。誰がどこにいて、どこからパスを出そうとしているのか、それらを感じ取るために、仲間と積み上げてきた連携が重要であり、欠かせないものであると感じました。テレビの特集を見ただけでは伝わらない5人制サッカーの魅力を知ることができた貴重な経験だったと感じます。

(Volunch 2年 加藤奈那華)

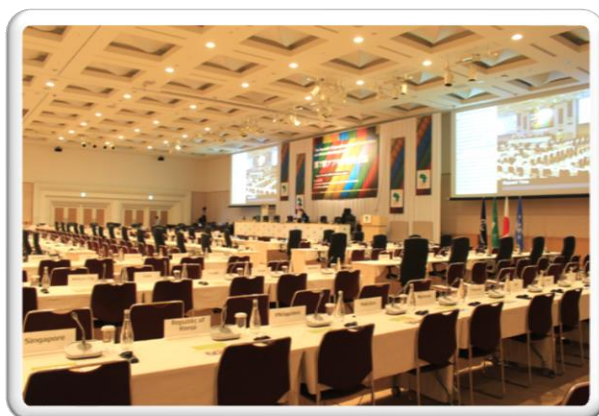


もっとボランティア

TICAD7第7回アフリカ開発会議

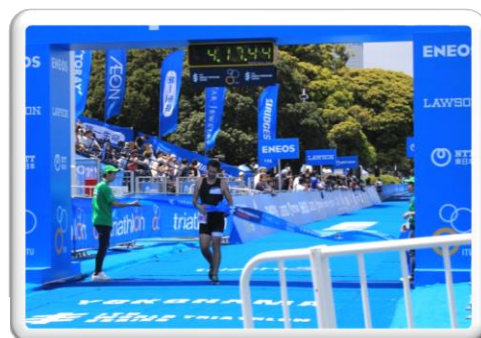
TICAD7は日本が主催する最大規模の国際会議で、本学から100名の学生がボランティアとして参加し、国際会議ならではの緊張と熱気と興奮を肌で感じてきました。活動の内容は多岐にわたり、司令塔であるロジ室総括や総務班の事務補助をはじめ、本会議場での議場支援や通訳・通訳補助、レセプション等を仕切る班、サイドイベントやバイ会談及びビジネスイベント支援、各国代表の配偶者をサポートするプログラムの担当等に分かれ、24日から1週間、及び27日から4日間のそれぞれの日程で活動しました。

(Volunch 7名参加)



2019 ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会

選手の受付や表彰式での副賞の授与等を行いました。今大会はボランティア参加者にとって、大会が沢山の人の協力で支えられているという事を実感し、完走した選手と喜びを共有することのできるイベントとなりました。また次回の2020年の横浜大会においてはオリンピック約2ヶ月前の開催ということもあり、ますます盛り上がること間違いなしです！ (Volunch 1名参加)



他にも、Volunchメンバーが個人的に参加したボランティアの感想を紹介します。



ナイトヨガ運営

ヨガの受付やマットの設置等を手伝いました。一緒にヨガの体験もできるので、ボランティア初心者の方も楽しんで参加できると思います！ (Volunch 1年 桜川 轟)

農業のお手伝いin喜界島

一週間の滞在の中で、農業はもちろん、島民の方との交流や島の観光等、多くの事を経験することができました。南の島の、のんびりとした雰囲気も素敵でした。 (Volunch 1年 石川 三千花)

複合的問題を抱える 小中高校生の学習支援

このボランティアは生活困窮状態にある家庭の子どもの学習支援です。学習のサポートだけでなく、学校や家庭での過ごし方について話すなど、生徒との会話が多いのが特徴で、楽しく活動しています。 (Volunch 1年 石川 三千花)

日本語授業ボランティア

本学の留学生と日本語で議論したり、文化の違いについて学ぶことで、日本についてより深く理解できました。 (Volunch 1年 菅野 杏美)

子どもの命と向き合う： チャリティコンサート運営

チャリティーで得た収益でホスピスを設立をする活動支援のため、チャリティーグッズを販売しました。病気の子もたちが気持ちよく家族、友だちと過ごせる環境作りが大切であることを強く感じました。 (Volunch 2年 深井智史)

自分発見プロジェクト in 屋台の森

障害のある子どもたち一人ひとりに、短い時間ですが学習の手伝いをしました。障害とは何かについての考えが深まる体験でした。 (Volunch 1年 揚妻 幸歩)

◆横浜市立大学ボランティア支援室学生スタッフ“Volunch”
E-mail : stuvolun@yokohama-cu.ac.jp

◆横浜市立大学ボランティア支援室
金沢八景キャンパス YCUスクエア1F & 2F S27 「Volounge」
平日 10:00～17:00
TEL : 045-787-2444
E-mail : voluntee@yokohama-cu.ac.jp

Facebook



Twitter



ボラ室HP

